



芦原会館 組手試合規定

芦原会館の試合は、技術の向上・礼節を目的として行う。

【クラス】

1・2年生クラス	3・4年生クラス	5・6年生クラス (体重別)
----------	----------	----------------

【選手条件】

1. 芦原会館の会員であること。
2. サポーター（脛サポーター・拳サポーター・**膝サポーター（3年以上は義務）**・ファールカットプ・ヘッドギア）着用すること。
3. 心身共に健全であること。

【試合時間】 ※レフェリータイム等、審判がタイムを取らない限りは、試合時間を止めません。

本戦	1分 30秒
----	--------

延長	1分
----	----

再延長（決勝・準決勝のみ）	1分
---------------	----

体重判定（3kg差）	
------------	--

最終延長	1分	※マストシステム
------	----	----------

【勝 敗】

1本勝ち

1. 反則箇所を除く部位への突き・蹴り等をきめ、相手を3秒以上倒れた場合。
2. 戦意喪失等により審判が試合続行不可能と判断した場合。
3. 「技有」2本・「減点」2・「技有」1本+「減点」1で合わせて一本とする。

技あり

1. 反則箇所を除く部位への突き・蹴り等を決め、そのダメージにより一時的に動きが止まった場合、またはダメージにより一時的にダウンした場合。
2. 相手の顔面に蹴りをきれいに当て体制を崩した場合。
3. サバキが決まった場合。
※サバキのルール詳細は最後に記載。
4. 「注意」2回で「減点」1とし、「減点」1は「技有」と相殺する。

【判定方法】

1. 主審1名、副審4名のうち2名以上の旗が上がった方を勝ちとする。
2. 有効打・手数・気迫等を判断し勝敗を決めます。
3. 1本勝ちが決まらない場合は判定とし、判定で引き分けの場合は延長戦を行う。
4. 延長戦は予選1回、決勝戦・準決勝戦は2回を原則とし、両選手の技術・気迫・有効・注意等の多少により決定する。
5. 延長で決まらない場合は、体重判定（3kg差）で勝敗を決める。
6. 体重差が3kg無い場合は、最終延長にて判定します。（マストシステム）



【反 則】

以下の事を行った場合は、注意・減点・反則負け・退場を言い渡す場合があります。

1. 突きによる顔面への攻撃。
2. 金的、背面、喉への攻撃。
3. 両手にて相手の身体、道着を掴んでの攻撃。(廻し受けは可)
4. 掴みは3秒以内までとする。
5. 片方が倒れた時の双方からの攻撃。
6. 場外へ逃げたとき、または相手の一方的な攻撃で場外に出され続けた場合。
7. 両手掴みからの膝蹴り。(廻し受けからの膝蹴りは可)
8. 特に悪質な試合態度とみなされたとき。
9. 選手側の応援者が、相手側の選手の中傷又は、罵声を浴びせたりした場合、その応援側の選手は減点又は反則負けの対象とする。
10. 反則は注意2回で減点1、減点2で失格とする。
11. 「技あり」と「減点は」は相殺する。
12. 退場の場合は会場から出て行ってもらいます。

サバキのルール説明

- 今大会のサバキのルールは、「巻き込み投げ」「裏投げ」「蹴りによる引き倒し」「カッティング」が下記の流れで決まったときは、技ありとする。
 1. 相手の攻撃「各突き」「各蹴り」を受けから、及び技の流れの中でサバキ「巻き込み投げ」「裏投げ」「引き倒し」「カッティング」が一連の流れの中で決まった場合。
 2. 相手の攻撃が無い場合でも、ローキック等で崩してからのサバキが決まった場合。
- サバキによる技ありの条件
 1. 相手の攻撃を受け、及び技の流れから倒すまでの流れがスムーズであり、捌いた後に体制が崩れていない事。
 2. 相手の攻撃が無い場合でも、ローキック等で崩してからサバキが決まった場合。
- 無効について
 1. 相手の攻撃なしでのサバキは無効とする。但し、ローキック等で崩してからのサバキは可とする。
 2. 相手の攻撃を、受け技を使わずに身体で受け止めてからのサバキは無効とする。
 3. 審判が「無理やり」と判断した場合は無効とする。